

## 2024年3月期 第3四半期 決算説明会 主な質疑応答

日時:2024年2月7日(水) 17時~18時

Q:政策費の投資効果を現時点でどう捉えているか

A:SHOCK THE WORLDは、情報・カルチャー発信型のイベントであるため、イベント後の拡散によって効果が発現するためタイムラグがある。イベントと連動し、店舗で体験型イベントなどを実施しており、今後の売上成長に繋がると考えている

Q:3Qまでの進捗は会社計画と比較するとどうか

A:今期は3Qに政策費を多く投入する予定だったため3Q対比4Qに利益が多く出る計画としていた。ただし時計事業において中国市場の急減速があり、3Qは会社計画を下回った

Q:時計事業の中国が想定より厳しいとのことだが、月を追うごとに厳しいのか。4Qについても懸念しているか

A:年末より急速に悪化した中国の消費動向は引き続き注視している

Q:政策費は3Qにどの程度使ったのか。4Qの見通しについてはどうか

A:時計事業では計画通り政策費を15億円弱使用した

Q:EdTech事業について3Q実績が低く見えるが、期初計画通りの進捗で良いか

A:年間の営業利益計画に対し、3Qまでで75%以上の進捗となっている。電子辞書の売上の多くは4Qに計上されることから、EdTech事業は計画通り推移している